

学校 教育 目標	笑顔で結びつなげよう南吉田 ○ 進んで学習し、ねばり強く課題に取り組む子どもを育てます。 ○ 礼儀やまじりを大切に、互いのよさを認め合い、周りの人と豊かに関わる子どもを育てます。 ○ 自他の命を大切に、心と体を鍛え、進んで健康づくりに取り組む子どもを育てます。 ○ まちを愛し、様々な関わりの中で生き方を学び、自分ができることを進んで実践する子どもを育てます。 ○ いろいろな人とのコミュニケーションを通して、違いや共通点を理解し、尊重できる子どもを育てます。				
	学校 概要	創立 119 周年	学校長 金子正人	副校長 菅野範子	2 学期制
児童生徒数： 620 人		主な関係校： 横浜吉田中学校 共進中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	横浜吉田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本をもとによりよく問題を解決する力</li> <li>自分を大切にし他者と共に生きる力</li> <li>心身ともに健やかに生きる力</li> <li>地域のために他者と協働する力</li> <li>多様性を尊重し共生する力</li> </ul>	横浜吉田中学校 本町小学校 南吉田小学校 みなとみらい本町 小学校	持続可能な未来の社会を創る担い手として ◎まちを愛し、役立つ意識を高め、関わり・つながりを大切にする子ども ◎多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども ◎自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども ◎学びの基礎・基本を身につけ、心身ともにたくましく生きる子ども ◎身につけた知識・技能をもと主体的、協働的に課題解決に向かう子ども ・小中学校の授業研究会に参加し、学習について学びの確認と授業力向上 ・児童生徒に関する継続的な情報共有と指導についての共通理解 ・小中合同あいさつ運動の実施等、児童生徒交流の場の設定 ※学地連事業の協働 ・国際教室、個別支援級、小中連絡会について各校種間の相互理解とその促進 ・ブロック内で育成を目指す資質・能力の9年間で育てる学びのつながり・具体的取組につ いて継続的な協議の実施

中期 取組 目標	「社会に開かれた教育課程の実現を通して、多様性を尊重し、人やまちとのつながりを大切にする子どもを育てます」 ・学ぶ楽しさを感じながら、あきらめずに粘り強く学ぶことができるようになります。 ・自分だけでなく、友達もかけがえない存在として尊重できるようにします。 ・健康や安全に対する関心を高め、よりよい生活習慣や運動習慣を形成できるようにします。 ・まちを知り、まちの一員としての自覚をもち、愛着をもてるようになります。 ・障害の有無、国籍や文化の違い等を超えて互いの良さを認め合えるようになります。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①朝学習・朝読書、読み聞かせ、MY検定、夏季学習教室、放課後学習支援等を通して基礎学力の定着に努める。②課題解決に協働的に取り組む子を育成する。その際、誰一人取り残さない支援のあり方を研究する(重点研究)③ICT活用で個別最適な学びを実現させる(まるぐランド、ドリルパークの導入)
担当	学力向上部	
徳	豊かな心	①「笑顔で結びつなげよう南吉田」の合言葉で児童会活動を一層活性化させ豊かな心の育成に努める。②学校行事を子どもに委ね主体性を発揮できる場を設けることで、自分や集団の成長を実感できるようにする。このことで社会情動的コンピテンシー(非認知能力)の育成を図る(市教委事業)
担当	道德部・特活部	
体	健やかな体	①基本的生活習慣の定着に努め、GIGA端末持ち帰りを見越してスマホ、ゲーム、ネットとの付き合い方について引き続き指導していく。②学校保健委員会では歯の健康を取り上げ歯磨き習慣を定着させる。③児童集会等で楽しみながら体力アップできるようにする。
担当	体育部	
公開	多文化共生	①多文化共生教育を推進し多様性を尊重できる子の育成に努める。(南区、みなみラウンジとの連携事業)②日本人と外国人が共に学ぶ学校としてそのよさを積極的に発信する。③日本語教育を充実させ誰一人取り残さない教育支援を実現する。④母語教室を行いアイデンティティの確立を支援する。
担当	人権部	
いじめへの対応		①いじめが疑われる事案には、迅速かつ組織的に対応し、安心して通える環境を整える。②いじめアンケートや教育相談等で事実を把握するとともに、全ての教育活動を通していじめ防止や生命尊重について指導する。③児童会でふわふわ言葉キャンペーンやMYフラワー運動を展開しいじめを防止する。
担当	児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①学年研、重点研を中心に校内でスキルアップを図るとともにメンターチーム研修を通して経験の浅い教職員同士が悩みを共有できる場をつくる。②国際、特別支援、ICT活用等、学校課題対応型の研修を行い課題解決を図る。③働き方改革を推進し時間外労働の削減に努める。
担当	研究研修部	
児童指導		①「南吉田小学校スタンダード」の定着を図り職員が同じスタンスで指導する。②児童指導全体会で情報共有し組織的に対応する。③関係機関連携(区、児相、警察等)を充実させ、学校だけでは解決できない課題の改善を図る。④SC,SSWとの連携を充実させ心のケアに努める。
担当	児童指導部	
特別支援教育		①個別支援学級在籍児童が安心して学び、学習に集中できる環境づくりを行う。②支援の必要な全ての児童が支援を受けられるように特別支援教室を充実させICT活用を推進する。③大学や地域協働活動本部の力を借りて放課後学習支援教室を実施する。
担当	特別支援教育部	
地域連携		①HPで教育活動を積極的に公開し地域に開かれた学校づくりを推進する。②まち探検を通して、地域や町内会の方たちと出会い、まちへの愛着をもてるようにする。③防災寺子屋、防災授業参観等を通して地域課題の解決に貢献する。④学校運営協議会の意見を学校運営に反映させる。
担当	地域連携部	
		c10
担当		